

81

NECトーキン株式会社【宮城県】

ものづくりの精神で、生まれ育った宮城に貢献する

地元住民や学生の工場見学の受け入れや、宮城県と連携した人材育成セミナーの開催、また宮城県内の若手研究室の研究成果に対し贈賞を行うなど、ものづくりを通じた地元貢献活動を行っている。

事業背景

1938年に東北帝国大学（現・東北大学）の本多博士と増本博士の研究成果を基に、当時のNTTと国内通信器メーカーが共同し、東北金属工業（株）を設立したことがNECトーキンのはじまり。材料の技術をコアに、素材から製品までを一貫して製造することができるのが強みである。創業の地である仙台市を始め、宮城県白石市には国内最大の生産拠点が、まさに宮城県で生まれ育った企業である。

技術者の採用背景

- 東北地方の大学からの採用を積極的に実施（東北大学、東北学院大学、山形大学、岩手大学等）。
- 宮城県と連携し、カーインテリジェンス人材育成プログラムの一環である業界セミナーを開催。自動車関連産業を目指す学生への業界PRを実施。
- インターンシップ受け入れ。

地域振興活動

■トーキン科学技術賞

宮城県内の大学等で工学分野の研究をおこなう若手研究者の研究成果に対し、贈賞すると共に奨励金を支給。昨年度で25年目となり、これまで延べ207名の研究者に賞を贈った。



トーキン科学技術賞

■会社ノベルティを地元名産品に

本社のある宮城県白石市の名産品「白石温麺」を使った企業ノベルティを作成。提携先のきちみ製麺にとっても企業と組んでノベルティを作るのは初の試み。



白石温麺



ノベルティ温麺

■工場見学

地元住民や学生の工場見学受け入れを積極的に実施。昨年度は、白石市内の中学校や東北大学、東北学院大学など教育機関の他に、宮城県商工観光部やみやぎ工業会など多数の工場見学を受け入れた。



工場見学

NECトーキン株式会社 <https://www.nec-tokin.com/>

〒989-0223 宮城県白石市旭町7-1-1 Tel.0224-24-3932 Fax.0224-24-3946

■従業員数：連結6,595名（国内1,027名 海外5,478名）